人と森をつなぐ情報誌

林野 -RINYA-

9
2021
No.174

特集

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界遺産登録が決定！

詳細については「日本美しの森 お薦め国有林」のウェブサイト（http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/）をご覧ください。

「日本美しの森 お薦め国有林」のご紹介

Recreation Forests of JAPAN

大和三山風景林（奈良県橿原市）

【概要】

大和三山は、奈良盆地の南端に位置する香具山（152 m）、畝傍山（199 m）、耳成山（140 m）の総称で、これら三つの山はいずれも秀麗な独立峰の山容を呈しており、国の名勝に指定（平成 17 年）されています。

山頂部や麓には、天香山神社、畝火山口神社、耳成山口神社などがあり、古来より神々が鎮まる山として古事記や日本書紀にも登場しています。また、万葉集や古今和歌集をはじめとして大和三山を詠んだ詩歌は数多く、特に持統天皇が自ら造営した藤原宮の永遠の繁栄を願う長歌が有名です。

畝傍山を眺める

【見どころ】

大和三山は、緩斜面で高低差が少なく、登山道も整備されていることから初心者でも登りやすい山で、季節を問わず幅広い年齢層の人々が散策に訪れています。

山並みのシルエットが絵のように美しく、眺める場所や季節によって様々な表情を見せてくれます。神話が生み出され、詩歌に詠まれた山麓の史跡や社寺を巡り、藤原宮跡から三山を眺めるハイキングコースがお薦めです。古に想いを馳せて万葉ロマン漂う大和三山を巡ってみてはいかがでしょうか。

橿原市観光協会ウェブサイト
http://www.kashihara-kanko.or.jp/

畝傍山の林内の様子

【アクセス】

【公共交通機関の場合】（登山口まで所要時間）
香具山：近鉄大阪線耳成駅から徒歩約30 分（約2.0km）
耳成山：近鉄大阪線耳成駅から徒歩約15 分（約1.0km）
畝傍山：近鉄橿原線畝傍御陵前駅から徒歩約８分（約0.6km）
【車の場合】（駐車場までの所要時間）
香具山：京奈和自動車道橿原北IC より約12 分（約７km）
耳成山：京奈和自動車道橿原北IC より約10 分（約４km）
畝傍山：京奈和自動車道橿原北IC より約12 分（約７km）

大和三山と街の風景

耳成山口神社

林野 9 2021 No.174

【表紙の写真】
沖縄島北部（やんばるの森）

Contents

03 特集 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界遺産登録が決定！
08 TOPICS 01 農林水産省特設Webサイト「マフ塾」夏休みの自由研究や勉強に役立つサイト
10 TOPICS 02 2021年上半期（１月～６月）の木材輸入実績について
12 TOPICS 03 『ゆるキャン△』とコラボ！「日本美しの森 お薦め国有林」の魅力とキャンプ情報をお届け！
14 林業成長産業化地域創出モデル事業㉔ 福岡県糸島市「糸島産材」がつくる快適な森と住まい
16 国有林野事業の取組 お役に立ちます国有林 ～民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ～
18 TOPICS 04 デジタル紙芝居「もくざいのヒミツ」を公開しています
19 みどりの女神が行く！

webアンケートにご協力をお願いします！
https://www.contactus.maff.go.jp/rinya/form/kouhou/202109.html

浦内川河口の
マングローブ林
（西表島）

オキナワ
ウラジロガシ
（徳之島）

浦内川
マングローブ林
（西表島）

特集

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界遺産登録が決定！

ヒカゲヘゴ
（奄美大島）

やんばるの森
（沖縄島北部）

やんばるの森
（沖縄島北部）

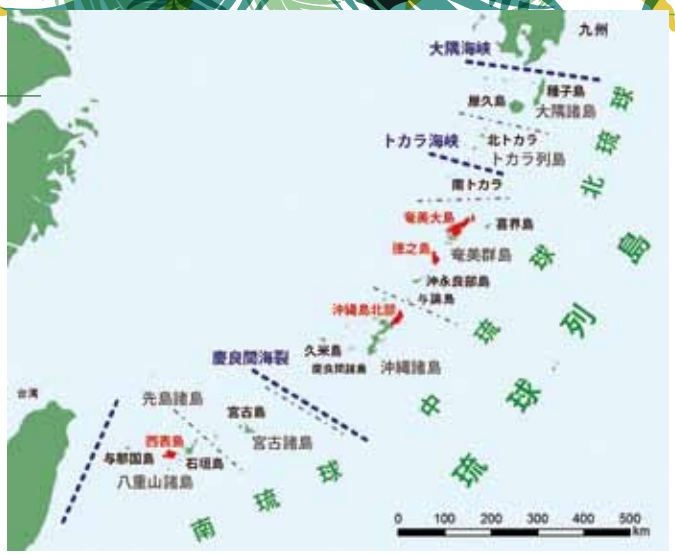
我が国5ヵ所目の世界自然遺産

令和3年7月16日から7月31日にかけて、第44回世界遺産委員会拡大会合がオンラインで開催されました。7月26日には、我が国が世界遺産に推薦していた「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の審議が行われ、世界遺産一覧表への記載（世界遺産への登録）が決定されました。

世界遺産は、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）総会で採択された「世界遺産条約」に基づいて、人類共通のかけがえのない財産として、将来の世代に引き継いでいくべき価値を有するものを一覧表に記載して保護・保存する制度です。世界遺産には「文化遺産」、「自然遺産」及び両方の価値を兼ね備えた「複合遺産」があります。

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は、世界的に貴重な固有種や絶滅危惧種が数多く生息・生育しており、国際的にも希少な固有種に代表される生物多様性保全上重要な地域であることが評価され、「屋久島」、「白神山地」、「知床」、「小笠原諸島」に続く我が国で5ヵ所目の世界自然遺産に登録されました。

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の概要



位置図（推薦書より）

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は、鹿児島県の奄美大島（11,640ヘクタール）と徳之島（2,515ヘクタール）、沖縄県の沖縄島北部（7,721ヘクタール）と西表島（20,822ヘクタール）の4つの地域から構成されており、遺産地域の合計面積は陸域の約4万3千ヘクタールで、その大部分が常緑広葉樹の亜熱帯多雨林に覆われています。

遺産地域を含む4地域（※）は、日本の国土に占める割合は僅かですが、1,819種の維管束植物（日本全体の26%）、21種の陸生哺乳類（同19%）、394種の鳥類（同62%）、267種の陸水性魚類（同68%）、36種の陸生爬虫類（同50%）、21種の両生類（同28%）が生息・生育しており、日本全体の動植物種数に対して大きな割合を占めるとともに、日本の脊椎動物における国際的な絶滅危惧種の36%が生息しており、多様で貴重な動植物が生息・生育する重要な地域になっています。

また、種の数や絶滅危惧種が多いだけではなく、1属1種で、世界に近縁種がいないアマミノクロウサギや、沖縄島北部の固有種である「飛べない鳥」のヤンバルクイナ、西表島にのみ生息するイリオモテヤマネコなど、遺産地域に生息する国際的な絶滅危惧種95種のうち75種（79%）が固有種であるほか、陸生哺乳類（遺産地域を含む4地域の種数に占める固有種の割合62%）、陸生爬虫類（同64%）、両生類（同86%）などでは高い固有種率を示しています。

「自然遺産」に登録されるためには、世界自然遺産の「自然景観」「地形・地質」「生態系」「生物多様性」の4つの基準のうち、いずれか1つ以上に合致し、かつそれらの適切な保護管理体制がとられていることが必要です。「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は、上記のように琉球列島の中部及び南部の独特で豊かな生物多様性の生息域内保全において、極めて重要な自然の生息地を包含していることから、「生物多様性」の基準に合致していること、また、国や県、地元市町村や地域の関係団体等によって適切な保護管理体制がとられているものとして世界自然遺産に認められました。

※遺産地域を含む4地域：世界遺産地域及びその周辺地域を含む島または地域全体としての、奄美大島、徳之島、やんばる3村（沖縄島の最も北に位置する、国頭村、大宜味村、東村の3つの村で構成される地域）、西表島を指す。

アマミノクロウサギ

ヤンバルクイナ

イリオモテヤマネコ

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界遺産登録が決定！

登録までの経緯

林野庁では、環境省や鹿児島県、沖縄県、地元市町村、地域の方々と連携し、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界遺産一覧表への記載に向けた取組を進めてきました。また、林野庁及び環境省は、推薦地域の生態系の保全のため、森林生態系保護地域の設定・拡張や国立公園の指定・拡張をそれぞれ行ってきました。

世界自然遺産候補地の選定

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は、平成15年、林野庁と環境省が共同して設置した「世界自然遺産候補地に関する検討会」において、平成17年と平成23年にそれぞれ世界自然遺産に登録された「知床」と「小笠原諸島」とともに世界自然遺産の候補地として選定されました。

推薦書の提出～延期勧告

平成25年5月に、環境省、林野庁、鹿児島県及び沖縄県は世界自然遺産候補地科学委員会を設置し、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の推薦地域の特定、推薦書の検討等を進め、ユネスコ世界遺産センターに対し、平成28年2月に暫定リストを提出し、平成29年2月には正式な推薦書を提出しました。また、同年10月にはユネスコ世界遺産委員会の諮問機関であるIUCN（国際自然保護連合）による現地視察が行われました。

平成30年5月、IUCNから、推薦地域の連続性に欠けることなどを理由に世界遺産一覧表への「記載を延期」することが適当と勧告され、これを受け、日本政府は一旦推薦書を取り下げました。

推薦書再提出～登録決定

平成30年5月のIUCNの勧告を踏まえ、平成31年2月、日本政府は沖縄の北部訓練場返還地を推薦地に追加するなど推薦内容を変更して再度推薦書を提出し、同年10月に、再度IUCNの現地視察が行われました。

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界遺産登録の審議が予定されていた令和2年6～7月の世界遺産委員会は、新型コロナウイルスの影響で1年延期となり、次回会合に審議は持ち越されました。令和3年5月10日、IUCNから世界遺産一覧表への「記載」が適当との勧告があり、7月26日に開催された第44回世界遺産委員会拡大会合において、遂に世界遺産一覧表への記載が決定しました。

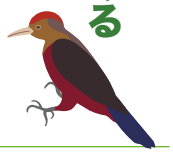
審議の結果、世界遺産一覧表に記載することと同時に、その生物多様性の保全のために、我が国に対し、①適正な観光利用、②交通事故等による絶滅危惧種への被害防止、③河川再生、④緩衝地帯における森林伐採の4項目について改善を求める要請も合わせて決議されました。林野庁では、今後とも関係機関等と連携し、本遺産の適切な保全管理に努めてまいります。

世界遺産登録までの経緯

※緑は林野庁、黄は環境省における対応

時　期	内　容
平成25年（2013年）1～2月	関係省庁連絡会議において、世界遺産暫定一覧表（暫定リスト）に追記することを政府として決定 ユネスコ世界遺産センターへ暫定リスト追記申請書提出
平成25年（2013年）3月	奄美大島及び徳之島：奄美群島森林生態系保護地域の設定
平成25年（2013年）5月～	世界自然遺産候補地科学委員会を設置し、推薦地域の特定、推薦書の検討等を進める
平成28年（2016年）2月	ユネスコ世界遺産センターへ暫定リスト追記申請書再提出
平成28年（2016年）3月	西表島：西表島森林生態系保護地域の拡張
平成28年（2016年）4月15日	西表島：国立公園の大規模拡張（西表石垣国立公園）
平成28年（2016年）9月15日	沖縄島北部：国立公園の新規指定（やんばる国立公園）
平成29年（2017年）2月1日	ユネスコ世界遺産センターへ世界遺産推薦書提出
平成29年（2017年）3月7日	奄美大島及び徳之島：国立公園の新規指定（奄美群島国立公園）
平成29年（2017年）10月	世界遺産委員会諮問機関（IUCN）による現地調査及び評価
平成29年（2017年）12月	沖縄島北部：北部訓練場返還地等を対象にやんばる森林生態系保護地域の設定
平成30年（2018年）5月	IUCNによる延期勧告（→6月1日：推薦書の一旦取り下げ）
平成30年（2018年）6月	沖縄島北部：北部訓練場返還地を編入による拡張（やんばる国立公園）
平成30年（2018年）11月	2018年度の推薦案件が「奄美・沖縄」に決定（官房長官発表）
平成31年（2019年）1月17日	推薦案件について、世界遺産条約関係省庁連絡会議での確認
平成31年（2019年）1月22日	推薦案件について、閣議了解
平成31年（2019年）2月1日	ユネスコ世界遺産センターへの世界遺産推薦書提出
令和元年（2019年）10月	世界遺産委員会諮問機関（IUCN）による現地調査
令和3年（2021年）5月10日	IUCNによる評価報告書の通知
令和3年（2021年）7月26日	第44回世界遺産委員会拡大会合において登録決定

世界自然遺産における林野庁の取組



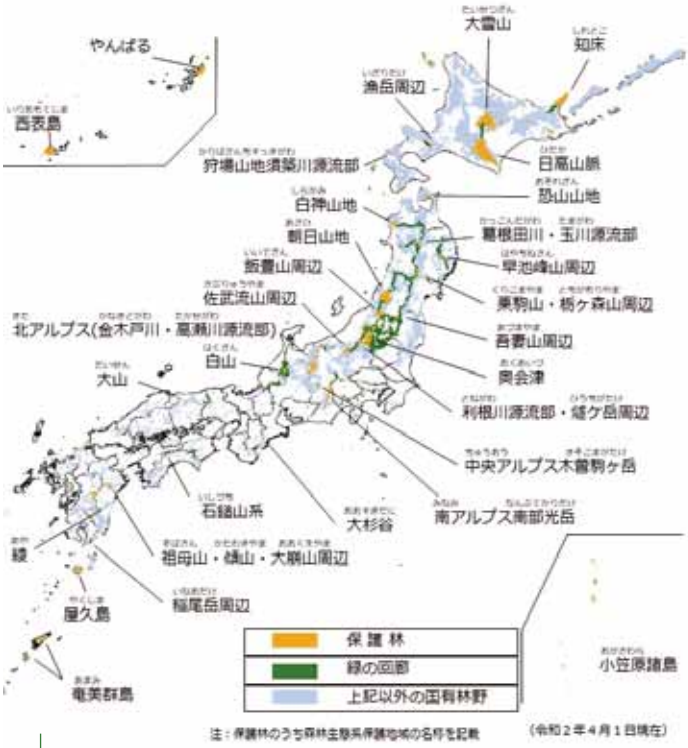
我が国の世界自然遺産において陸域のほとんどが国有林野です。そこで林野庁がこれらの世界自然遺産を保護するため、国有林野の管理経営で行っている様々な取組についてご紹介します。

「保護林」制度による森林生態系の保護

国有林野には、原生的な天然林や地域固有の生物群集を有する森林、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林が数多く存在しています。

林野庁では、これらの貴重な森林を適切に保護・管理するため、大正4年（1915年）に発足した保護林制度により、全国で約97万8千ha、661ヵ所を保護林に設定しています。

保護林のうち、我が国を代表する原生的な天然林を保護・管理することを目的に設定する「森林生態系保護地域」は、世界自然遺産を保護するための措置の一つとして認められています。このため、これまで世界自然遺産に登録された「知床」「白神山地」「小笠原諸島」及び「屋久島」の遺産地域にある国有林野のほとんどを「森林生態系保護地域」に設定しています。



全国の森林生態系保護地域

沖縄島米軍北部訓練場の返還と「やんばる森林生態系保護地域」の設定

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の地域は、前述のとおり平成29年にも世界自然遺産への登録を目指し、推薦を行いましたが、平成30年5月にIUCNから出されたのは「記載延期勧告」でした。その大きな理由の一つが、平成28年12月に我が国に返還された沖縄島米軍北部訓練場の返還地（約4千ha）が推薦区域に含まれており、その連続性に欠けることでした。

このため、林野庁九州森林管理局が中心となり、返還地のうち9割を占める国有林野3，754haについて、当該地域の海岸域から山頂部に連なる垂直的連続性や面的連続性の確保、渓流域の生物群集への配慮などを重要な観点として森林生態系保護地域の設定範囲の検討を行いました。検討の結果、大部分となる3，007haについて平成29年12月に新たに「やんばる森林生態系保護地域」として設定しました。

エコツアーガイドによる入林時の説明の様子

希少種の生育状況の調査の様子

特集「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界遺産登録が決定！

遺産地域に広がる国有林野

平成31年2月には、この「やんばる森林生態系保護地域」を区域に含めて再度推薦を行ったことが、「遺産価値の連続性が確保された」とIUCNに認められ、今回の登録につながった大きな要因と考えています。

また、奄美大島及び徳之島については平成25年3月に「奄美群島森林生態系保護地域」を、西表島については平成3年3月に「西表島森林生態系保護地域」を新たに設定した後、区域を拡張しつつ、厳格な保護・管理を行なっています。

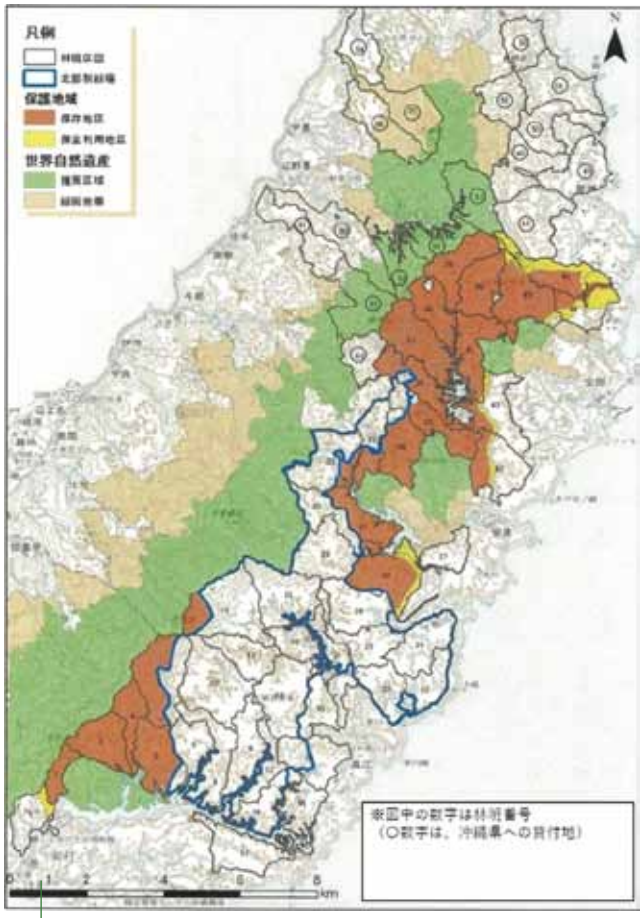
希少な野生生物を保護する取組

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」を世界遺産とする顕著な普遍的価値は「生物多様性」です。

前述した国際的にも希少なアマミノクロウサギ、ヤンバルクイナ、イリオモテヤマネコなど多くの固有種が存在し、これら希少種が生息する多様な森林生態系の価値を科学的に証明したことが世界に認められました。林野庁では、これらの希少な野生生物を保護するため、専門家の意見を聴いて策定した森林生態系保護地域保全管理計画に基づき、希少野生生物のモニタリング、生息環境の保全、外来生物の駆除等を行っています。

また、希少植物の盗採掘や希少動物の車両との衝突死の防止のため、森林管理署の職員が入林される皆様に注意を呼び掛けています。また、徳之島では、森林管理署が地元関係者と、林道を教育・研究やガイド付きのエコツアーのために利用する協定を締結するなど、保護と利用の調整に取り組んでいます。

これらの取組は、地元関係市町村やNPOの方々と役割を分担しながら取り組んでおり、引き続き、地域の関係者の皆様と連携した取組を進めていきたいと考えています。



やんばる森林生態系保護地域

価値ある自然を未来へつなぐために

この度世界遺産に認められた「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の貴重な自然は、地域の方々の生活箇所と隣接した場所で残されてきたものです。林野庁では、人と自然とが共生を図る中で生じる様々な課題と今後も真摯に向き合い、引き続き保護・管理の取組をしっかり進めていきたいと考えています。

世界遺産の自然を求めて、今後これらの島々を多くの皆様が訪れるものと思います。世界に誇る自然遺産の価値を維持し、未来につなげていくために、皆様お一人お一人のご理解とご協力をお願いいたします。

TOPICS 01

農林水産省特設Ｗｅｂサイト「マフ塾」夏休みの自由研究や勉強に役立つサイト

農林水産省は、令和３年度「こども霞が関見学デー」の一環として特設Ｗｅｂサイト「マフ塾」を２０２１年８月16日から８月20日まで公開しました。

「マフ塾」では、自由研究、クイズ、㊙授業の３つのカテゴリーから農・水・林について学ぶことができ、夏休みの自由研究にも役立つ27のオンラインプログラムを掲載しました。また、視聴者が電話で質問できるＹｏｕＴｕｂｅのライブ配信イベントを行うなど、新たな取り組みも行われました。

林野庁では、まんがを通して森林の仕事やきのこの豆知識、木材利用について学べるオンラインプログラムを公開しましたのでご紹介します。

「こども霞が関見学デー」とは？

夏休み期間中に子供たちに広く社会を知ってもらうこと、政府の施策に対する理解を深めてもらうこと、活動への参加を通じて親子の触れ合いを深めてもらうことを目的として各府省庁等で連携し、開催しているイベントです。

農林水産省では、新型コロナウイルス感染症対策により、昨年から引き続きオンラインでの開催となりました。

木っと木になる木のつかい方～木づかいマスターになろう！～

幼児から大人まで楽しみながら「木を使うこと」の大切さを学べる動画や絵本などのコンテンツを公開しました。

幼児向け木育紙芝居「ぼくのなまえはロボッキー」は全三話を動画で掲載しました。主人公の元気くんが木材や庭に落ちていた枝などでスーパーロボット「ロボッキー」を作り、一緒に森へ探検に行く物語です。第三話では、クイズを通して木材の特性を学べる内容になっています。

このほか、木の精のキノヘイ、キノサクと一緒に学びながら遊べるコンテンツがつまったウェブサイトをご紹介しました。

▲木育紙芝居「ぼくの名前はロボッキー」
http://www.kidukai.com/learn/story.php

▲キノヘイ、キノサク
https://love.kinohei.jp/kids/index.php

見て♪読んで♪森林（もり）の世界をのぞいてみよう！

森林と深い関係のある身近な食材「きのこ」について、キノコ先生が豆知識を教えてくれる動画を公開しました。また、8月18日(水)には、BUZZMAFFのYouTubeチャンネルでライブ配信を行い、視聴者から電話で寄せられた「きのこ」に関する質問に答えるイベントを開催しました。質問では「自宅で生の椎茸を干しても市販の干しシイタケと同じようになりますか？」や「椎茸はどこまで大きく育つのですか？」といった素朴な疑問など、多くの質問が寄せられ大いに盛り上がりました。

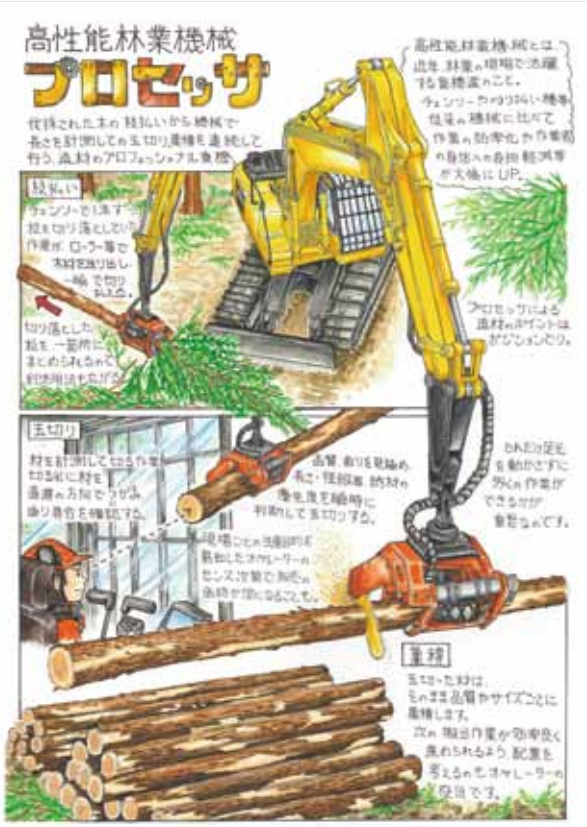
このほかにも森林や林業についてまんがで学べる4つのコンテンツを公開しました。「リン子の絵日記」では、31種類の樹木の特徴やどんなものに利用されているかなど、身近なものを例に挙げてご紹介しています。「林業へススメ！」は、主人公みどりと同僚、友人たちとのコミカルなやりとりと、高性能林業機械のマニアックな図説が魅力的な作品です。

▲YouTubeライブ配信 配信の様子はアーカイブからご覧いただけます。
https://youtu.be/p5ZDooYE26c

▲【クセ授業】人に話せるきのこの豆知識
https://youtu.be/MyXSQxoF71E

▲「リン子の絵日記」
http://www.rinya.maff.go.jp/j/tosyo/attach/pdf/event-25.pdf

特設Webサイト「マフ塾」は、引き続き以下のページで公開中です。
https://www.maff.go.jp/j/kids/kodomo_kasumi/2021/index.html



▲「林業へススメ！」
http://www.rinya.maff.go.jp/j/tosyo/attach/pdf/event-35.pdf

TOPICS 02

2021年上半期（1月～6月）の木材輸入実績について

1. はじめに

2021年上半期（1～6月）は、米国での新型コロナウイルス感染拡大からの経済回復を契機とする住宅需要の増加や、それに伴う北米での木材価格の高騰、世界的なコンテナ不足に伴う海上輸送運賃の上昇等により、我が国の木材輸入も大きな影響を受けました。

本稿では、2021年上半期における木材輸入の実績を輸入額と品目別輸入量に着目して紹介します。

2. 2021年上半期の木材輸入実績

（1）木材輸入額

本年上半期（累計、以下同）の木材輸入額は、前年同期比6％増の5，312億円でした。国別に見ると、中国が同5％、ベトナムが同14％、カナダが52％、フィリピンが同54％増加する一方、EUは同6％、インドネシアは同10％、ロシアは20％減少しました（図1）。昨年は、中国に代わって、EUが木材輸入額第一位となりましたが、本年上半期は、再び中国が第一位となりました。

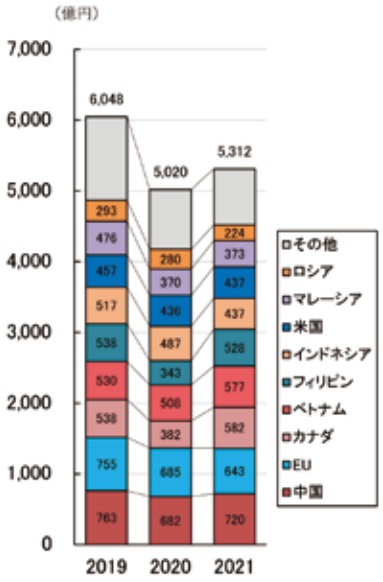


図1　2019年から2021年の上半期における木材輸入額

（2）丸太

本年上半期の丸太輸入量は、前年同期比8％増の137．3万㎥でした。国別に見ると、カナダが同206％増の39．8万㎥となる一方、米国は同10％減の79．3万㎥、NZは同1％減の14．4万㎥となりました（図2）。

カナダでは、昨年、同国最大手の丸太輸出業者が、一時的に自社有林の伐採を停止したことにより、我が国への輸出量も激減（2019年比68％減少）しましたが、その後、伐採・輸出が再開されたことにより、大幅な増加となりました。

（3）製材

本年上半期の製材輸入量は、前年同期比17％減の223．4万㎥でした。国別に見ると、EUが同19％減の101．5万㎥、カナダが同6％減の60．0万㎥となりました（図2）。

EU産製材は、主に構造用集成材の原料（ラミ

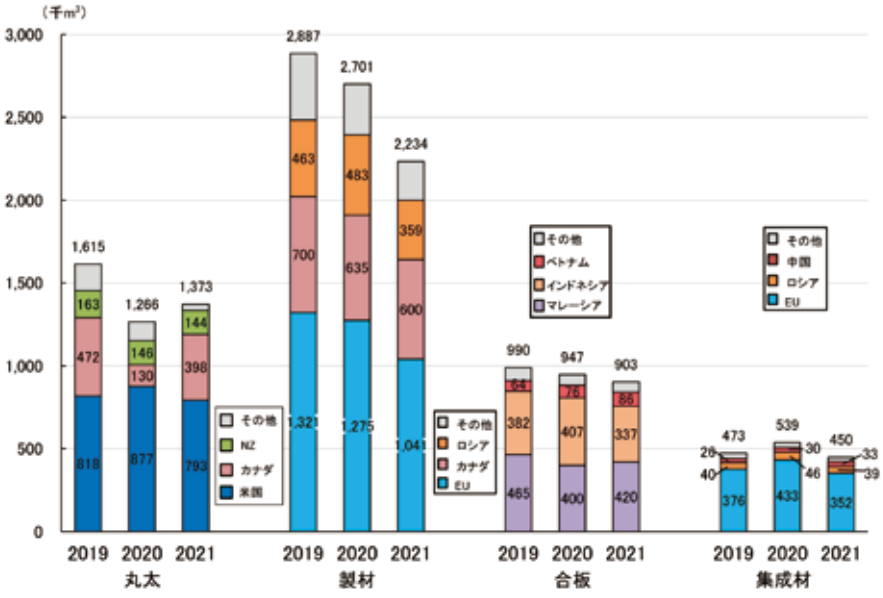


図2　2019年から2021年の上半期における品目別木材輸入量

ナ）に、カナダ産製材は、主に2×4住宅の部材に使われています。EU産製材の方が、カナダ産製材よりも減少幅が大きくなりました。

両国からの輸入量を月別に見ると、EUは本年4月から、カナダは本年2月から前月比で増加傾向が続いています（図3、4）。

（4）合板

本年上半期の合板輸入量は、前年同期比5％減の90・3万㎥でした。国別に見ると、マレーシアは同5％増の42・0万㎥となる一方、インドネシアは同17％減の33・7万㎥になりました（図2）。

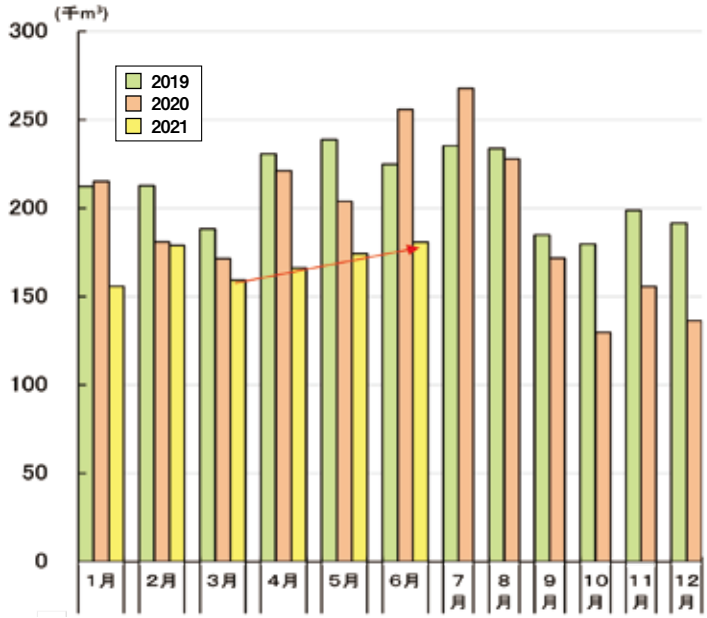


図3　EUからの月別製材輸入量（2019年1月～2021年6月）

（5）集成材

本年上半期の集成材輸入量は、前年同期比16％減の45・0万㎥となりました。国別に見ると、EUが同19％減の35・2万㎥となりました。EUからの輸入量は全体の78％を占めています（図2）。構造用集成材に限ると、輸入量計は同17％減の39・5万㎥、そのうちEUが同18％減の34・2万㎥となりました。

EUからの輸入量を月別に見ると、本年3月から前月比で増加傾向が続いています（図5）。

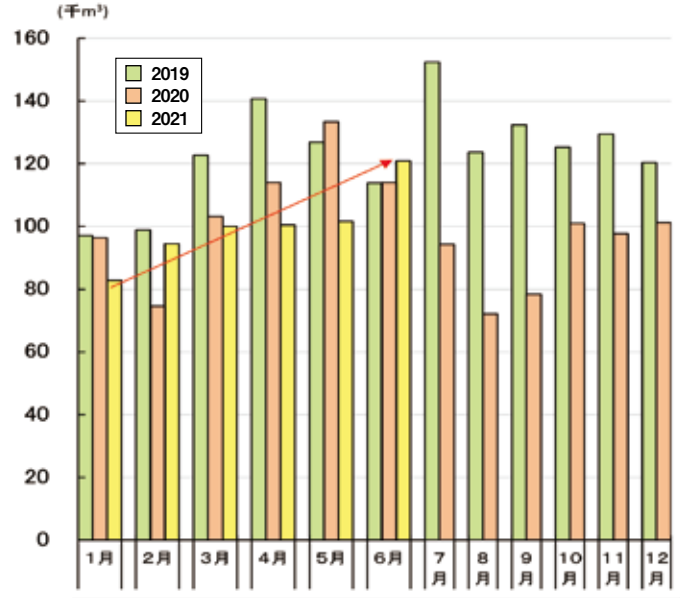


図4　カナダからの月別製材輸入量（2019年1月～2021年6月）

3．おわりに

本年5月以降、北米の製材価格は急落して、5月21日の1，514ドル／mbfから8月20日には399ドル／mbfまで下落しました。また、本年7月の米国の住宅着工戸数は、153万戸（季節調整、年率換算値）で、依然として高い水準にあります。さらに、北米太平洋岸での森林火災による原木供給への影響も懸念されています。このため、今後の世界における木材需給の動向は、依然として不透明な状況です。

林野庁では、今後も引き続き、木材輸入の動向に関する情報を積極的に公表してまいります。

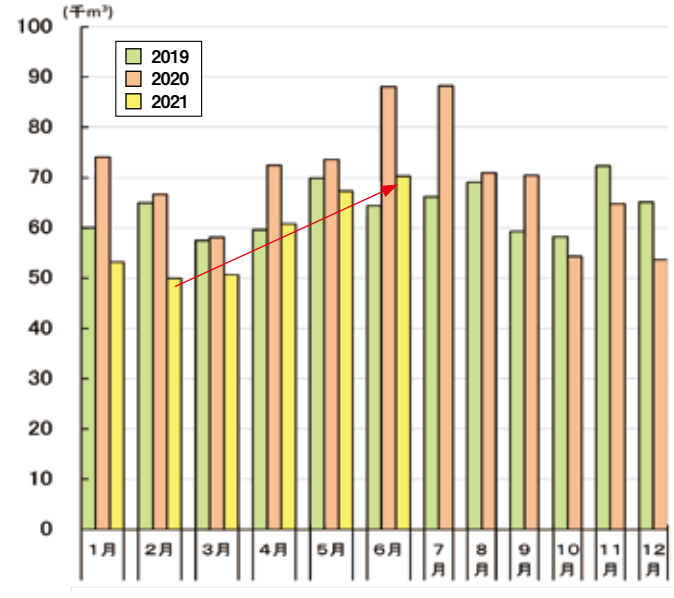


図5　EUからの月別集成材輸入量（2019年1月～2021年6月）

※毎月の木材輸入実績は、翌々月の上旬に林野庁ウェブサイトに掲載しておりますので、ご活用下さい。https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/yunyuu/boueki.html

※グラフは全て、財務省「貿易統計」から作成。

※「mbf」は北米における材積の単位で、1，000ボードフィート（bf）の意味。1mbfは2・36㎥に相当する。

TOPICS 03

『ゆるキャン△』とコラボ！「日本美しの森（にっぽんうつく） お薦め国有林」の魅力とキャンプ情報をお届け！

はじめに

林野庁では、森林浴、自然観察等に適した国有林野を「レクリエーションの森」に設定し、多くの方々にご利用いただいています。

その中でも特に優れた景観を有するなど観光資源としての潜在的な魅力がある93箇所を「日本美しの森 お薦め国有林」として選定し、重点的な環境整備や国内外への情報発信に取り組んでいます。

この度、人気TVアニメーション『ゆるキャン△』シリーズ（製作委員会代表幹事：フリュー㈱）とコラボレーションし、国有林の魅力やその中にあるキャンプ場に関する情報などを、分かりやすくお届けするガイドブック「いちおしの森＆キャンプBOOK」（以下、「ガイドブック」という。）を作成しましたのでご紹介します。

『ゆるキャン△』とは

『ゆるキャン△』は、山梨県を舞台に女子高校生たちがキャンプをしたり日常生活を送る様子をゆるやかに描いた人気作品です。

原作者のアウトドア経験や取材を基に作品内に織り込まれたキャンプノウハウ、山梨・長野・静岡といったモデル地の緻密な描写による日本の自然の美しさの再現が話題となり、新たなファン層を拡大しています。

今回のコラボにあたっては、背景画に「国有林」から見た富士山の風景を取り入れたり、キャラクターのウェアに国有林のシンボルマークを盛り込むなど、オリジナリティのある描き下ろしのデザインを作成していただき、記事と絵画の両面から国有林のPRを図っています。

ⓒあfろ・芳文社／野外活動委員会

Recreation Forests of JAPAN

ガイドブックに掲載の「日本美しの森 お薦め国有林」7つの森

名称　※（）は管轄森林管理局	キャッチフレーズ
然別自然休養林（北海道）	森と湖が織りなす神秘の世界
焼走り自然観察教育林（東北）	黒い溶岩が岩手山麓の四季を際立たせる
野反自然休養林（関東）	天空の水面にかがやく森と花園
戸隠・大峰自然休養林（中部）	水辺の植物と野鳥の楽園
扇ノ仙森林スポーツ林（近畿中国）	美しいブナの天然林で非日常を感じよう！
剣山自然休養林（四国）	霊峰つるぎと秘境の里、四季折々に醸し出す鮮やかな自然
田代原風致探勝林（九州）	日本初の国立公園内に広がる美しい高原地帯

ガイドブックには情報が満載！

ガイドブックには「日本美しの森お薦め国有林」にある厳選した7つのキャンプ場の情報をはじめ、登山や温泉、周辺の見どころ、森林内でのルール・マナーなどを盛り込んでいます。キャンプ経験者やこれからキャンプをしてみたいという方はもちろん、これまでアウトドア活動にあまり興味をもっていなかった方にも注目して頂けるようにしたほか、持ち歩きにも便利な大きさにしています。

本ガイドブックは、林野庁Webサイトよりダウンロードできるほか、林野庁が参加するイベント会場や全国のアウトドア用品店で無料配布しています。

このガイドブックをご覧になり、是非実際に国有林に訪れて、森林の素晴らしさを体感してみませんか。

※ガイドブックの配布先一覧、ダウンロードはこちらからお願いします。

※お出かけの際には、関係自治体が公表している新型コロナウイルス感染症対策を徹底していただくようお願いします。

林業成長産業化地域創出モデル事業㉔

福岡県糸島市

「糸島産材」がつくる快適な森と住まい

～関係者が一体となって実現する地産地消の取組～

「糸島市森林・林業マスタープラン」の構築と実行

1 糸島市における森林・林業の概要

福岡県糸島市は、人口約10万3千人、面積約216㎢で、福岡県西部の糸島半島に位置し、北側には玄界灘に面した美しい海岸線が広がり、南側には背振山系の山々が連なっています。

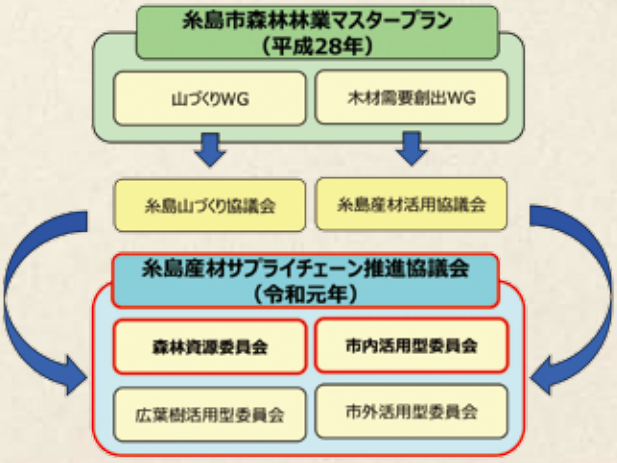
市域の約45％が森林で、スギ・ヒノキ等の人工林が約5，900haとなっており、その約85％が40年生以上の利用期を迎えています。

また市内には、ストックヤード機能を有する公設民営貯木場「伊都山燦（いとさんさん）」と小規模な製材所が3か所存在します。これまで切捨間伐中心の施業をしてきましたが、今後は環境に配慮した素材生産の推進、地産地消型の木材需要拡大が課題となっています。

2 マスタープランの構築

これらの課題解決を図るために、本市では平成27年度から28年度にかけて、「糸島市森林・林業マスタープラン（以下、マスタープラン、MP）」を策定しました。作成の手順としては、まず市全域の詳細な地形情報と森林資源情報を取得するための基礎調査として、航空レーザー計測を実施し、その情報からマスタープランの基となるゾーニングを行い、それをベースに伐採計画の作成、木材供給可能量の推計、路網計画を作成しました。

またマスタープランの作成と併せて、川上から川中・川下に至るまでのマスタープラン実行体制を検



糸島産材サプライチェーン推進協議会の設立

討し、平成29年度以降は、主として木材サプライチェーン（SC）の構築を行ってきました。

3 林業成長産業化地域創出モデル事業での取組

平成30年度より、「林業成長産業化地域創出モデル事業」を開始しました。

①「糸島産材サプライチェーン推進協議会」の設立

マスタープランの実行体制のさらなる強化を図り、川上から川中・川下の活動を一元化しつつ、市産材のサプライチェーン構築を推進するために、令和元年度に「糸島産材サプライチェーン推進協議会（以下、協議会）」が設立されました。協議会には市内の事業者の他に、本市、福岡県、九州森林管理局、九州大学が参加し、4つの委員会を設置、このうち、これまでに「森林資源委員会」と「市内活用型委員会」が活動を開始しています。

糸島市皆伐施業チェックリスト案 (1/2)

ガイドラインの遵守を確認するチェックリスト

糸島産材検収支援システム（伊都山燦にて）

伊都国のスギ・GAKU シリーズ

②施業ガイドラインの策定

市産材サプライチェーンにおける「糸島産材」は、「糸島市内の環境に配慮した施業（伐採）から産出された木材」と定義しています。

この「環境に配慮した施業（伐採）」を担保するため、令和元年度までに「糸島市伐採・搬出・再造林ガイドライン」・「糸島市間伐ガイドライン」を作成しました。今後は、ガイドラインの普及を図りつつ、令和4年度からの本格運用開始を予定しています。

③糸島産材SCMシステムの運用

市産材サプライチェーンの効率化・高度化を図るために、令和2年度に「糸島産材サプライチェーンマネジメント（SCM）システム」を構築しました。このシステムは、供給量の基となる伐採計画の作成や需給調整、原木の検収等を支援する各システムから構成され、市産材の生産・流通・加工に携わる林業事業体・原木流通事業者・木材需要者等の有機的な連携を支援することを目的としています。

④市産材のブランド化・商品開発

「市内活用型委員会」では、市産材の販売価格を上昇させ、森林所有者への利益還元、循環型施業の推進を図るために、「糸島産材使用住宅」をベースとした、市産材のブランド化、商品開発を継続して行ってきました。

具体的には、スギ天然乾燥材「伊都国のスギ」、スギ人工乾燥材「ITOSHIMA WOOD」、広葉樹建具・家具「GAKUシリーズ」の各商品開発を行いました。また「糸島産材使用住宅」の定義を「基本的に、全ての管柱に、糸島市産材を使用した家」とすることで、ビルダー・工務店が参入しやすい枠組みとしています。

⑤活動を支援する組織の検討・試行

令和2年度には糸島市、林業事業体、木材需要者が行う市産材サプライチェーンの取組を強化する活動を支援する、支援組織の検討を行いました。本年度からは、支援組織が提供するサービスを協議会の事務局が試行し、実証することで、令和5年度以降の支援組織の設立を目指しています。

4 最後に

本市では、「成熟した森林資源の利用を前提とした森林整備」、「環境に配慮した施業から生み出された市産材の付加価値化」を基本方針として、林業地ではない本地域の林業成長産業化の一例となるべく、引き続き各種取組を進めていきたいと思います。

お役に立ちます国有林

～民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ～

中部森林管理局

はじめに

中部森林管理局（以下、当局）では、森林の公益的機能の発揮や林業の成長産業化への貢献に向けて様々な取組を行っています。その中から特に民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様に参考としていただけそうな事例を「お役に立ちます国有林」として取りまとめ、令和2年3月から当局ウェブサイトと冊子にてご紹介しています（図を参照）。

お役に立ちます国有林取組事例

ご紹介している事例は、「お役に立ちます」の題名にふさわしいものとなるように、当局の様々な取組の中から、民有林関係者の皆様が直面しておられる課題の解決のために参考となりそうなものとして、災害発生時の対応、低コスト化や省力化につながる新たな技術・工法、シカ被害対策、木材の新たな需要拡大や供給方法、森林の多様な利用方法などを選定しました。例えば、災害発生時の対応では、豪雨により発生する流木による甚大な被害等への対策として、容易で安価な設置が可能となる既存の治山ダムを活用した流木捕捉工の開発についての取組（事例1）、木材の供給では、公共建築物や神社仏閣向けの特殊な寸法・品質の木材を円滑に供給するため、木材市場を通じて行う受注生産の取組（事例2）の事例を紹介しています。掲載している取組事例の一覧は表をご覧ください。

また、この事例集の目次には、参考にしていただく方として「自治体」、「林業・森林土木事業者」、「森林所有者」の区分を示しています。

最後に

当局では、今後も民有林関係者の皆様からのご意見を積極的に伺いながら、国有林をフィールドとして様々な取組

管内概要

中部森林管理局は本州の中央部に位置する富山県、長野県、岐阜県、愛知県の４県内の国有林を管轄しています。

管内の国有林はほぼ本州中央部の山岳地帯に位置し、標高差が大きく、地形も複雑なことから自然的条件は変化に富み、垂直的にはカシ・シイなどの常緑広葉樹からなる低山帯、ブナなど落 葉広葉樹を主体とする山地帯、トウヒ・シラベ・ダケカンバ主体の亜高山帯、ハイマツ主体の高山帯まで多様な森林を有しています。

また、これらのうち約３割はカラマツやヒノキを主体とした人工林であり、間伐などの森林整備を積極的に進めています。日本三大美林の一つとして名をはせた「木曽ヒノキ」を有する木曽地域をはじめ、木と人との長い歴史のある土地での森林づくりが進められています。

基礎データ

所在地	長野県長野市大字栗田 715 番地 5				
区域面積	336万 ha	うち森林面積	243 万 ha	うち国有林	65万 ha
管轄区の関係県	４県（富山県、長野県、岐阜県、愛知県）				

事例2

木材市場と連携した特殊な寸法や品質の木材の供給の概要

公共建築物や神社仏閣などの建設に必要となる大径材や長尺材を円滑に供給するため、木材市場を通じた受注生産を行っています。

具体的には当局が丸太の販売を委託している原木市場が、大径や長尺の丸太が必要な方からのご相談を受け付けた場合に管内の事業地から供給できるか調べ、原木市場に出品して販売します。長野県木曽町の役場本庁舎・防災センター（木造平屋建て、延床面積2,645㎡）の梁・桁用材として、㊨㊦木曽ひのき、直径30cm上の丸太、長さ５m材を16本、長さ６m材を65本を、木曽官材市売（協）（原木市場）に出品して、材納入業者である木曽木材工業（協）に販売しました。

事例1

既設治山ダムを活用した流木捕捉工の開発の概要

平成29年九州北部豪雨による甚大な流木被害の発生等を受けて、より効率的に流木対策を進めるため、当局管内の既設治山ダム（約１万基）を有効活用する新工法「独立基礎型流木捕捉工」を開発しました。

「独立基礎型流木捕捉工」は、流木を直接捕捉する鋼製の柱とそれを支えるコンクリート製の基礎を、既設治山ダムの上流側に横断するよう複数基設置するものです。

この工法は、土砂掘削の後、縦穴を掘る際に用いるライナープレートを残存型枠として設置して、その中に基礎となるコンクリートを打ち込み、設置します。

試験的な取組みでは従来型の流木捕捉式治山ダムの新設に比べて施工が容易で安価（概ね25%減）になりました。また、危険な河川内での作業時間を短縮（概ね75%減）できました。

掲載している取組事例（令和３年７月現在）		参考となる皆様		
		自治体	林業・森林土木事業者	森林所有者
1	災害発生時におけるヘリコプターによる迅速な調査	○		
2	既設治山ダムを活用した流木捕捉工の開発	○	○	
3	航空レーザ計測データの活用と共有	○	○	○
4	軽量フレームを使用した等厚コンクリート擁壁	○	○	
5	多様で健全な森林づくりへの取組 ～見える化プロジェクト～	○		○
6	有用広葉樹等の保残による植栽面積（本数）の削減	○		○
7	作業路網や中間土場の民国共同利用	○		○
8	伐採・造林一貫作業システムの推進による低コスト施業	○	○	○
9	低コスト造林 ～成果の見える化～	○		○
10	素材生産事業における労働生産性の向上	○	○	○
11	ついで捕獲、ついで見回り・通報 ～事業体、猟友会等のご協力によるニホンジカ捕獲～	○	○	○
12	ニホンジカ食害防除対策の現地展示と検討会開催	○	○	
13	ＩＣＴを活用したニホンジカ捕獲 ～ワナ見回りの軽減～	○		
14	信州プレミアムカラマツのブランド化	○	○	○
15	Ｄ材（端材及び末木枝条）の買受け希望者募集	○	○	○
16	木材市場と連携した特殊な寸法や品質の木材の供給	○	○	
17	国有林おさんぽMAP ～国有林を歩いて健康づくり～	○		
18	森林環境教育を行う場所の提供	○		
19	多様な活動の森の協定を活用した地域振興	○		○
20	木曽谷観光産業の復興支援 ～中山道木曽十一宿パズルラリー～	○		
21	Google Earth を活用した民国森林情報の共有	○		○
22	Google ストリートビューを用いた観光資源の紹介	○		
23	付録：令和元年度の現地検討会等の開催実績			

表 掲載している取組事例

を実証し、その結果を「お役に立ちます国有林」をはじめ様々な場面で発信することにより、森林の公益的機能の発揮と林業の成長産業化に貢献していきたいと考えています。

図 当局ウェブサイト「お役に立ちます 国有林」

TOPICS 04

デジタル紙芝居「もくざいのヒミツ」を公開しています

箕面森林ふれあい推進センターでは、森林環境教育等に活用していただけるデジタル紙芝居「もくざいのヒミツ」を当センターウェブサイトに公開しています。

この「もくざいのヒミツ」は当センターの職員が作成したオリジナルの作品で、木を使うことの良さと木材の優れたヒミツを楽しみながら学べる内容となっています。

ストーリーは、主人公のハルヒちゃんがおばさんの家に行き、自分の家と比べてよい雰囲気に驚き、なぜこのように感じるのかと疑問をもつところから始まります。その後ハルヒちゃんはミクロサイズになって、木製机の内部に入り込み様々な冒険をして木材の秘密を解き明かしていくというものとなっています。

小学校低学年の児童に分かりやすい表現を用いていますので、ご家庭での読み聞かせのほか、木育・木工の教室、イベント等でも幅広く活用していただけるものと考えています。小学５年生の社会科での「森林資源」の学習や、小学５・６年生の木材を使用する図画工作等の授業の際にも併せて活用していただけたら幸いです。

精細な印刷データやパワーポイントのデータ等の提供もできますので、ご希望の方はお気軽に当センターまでお問い合わせください。

紙芝居『もくざいのヒミツ』を公開しました
（近畿中国森林管理局ホームページ）
https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/20210720.html

←もくざいのヒミツ（紙芝居）
↙ ミクロの世界を探検する主人公
↓木材がいっぱいの家

みどりの女神が行く！

ミス日本みどりの女神
小林（こばやし） 優希（ゆうき）

森の中にログハウスを建てるSDGsプロジェクトに参加

7月末、私は千葉県茂原市にある長柄町を訪れました。ミス日本×長柄町林業体験型宿泊推進協議会×ヨムーノ（暮らし情報メディア）による、林業で地域活性を目指す長柄町のSDGsプロジェクト「女子がゼロから！森でログハウスつくってみた。」という企画に参加するためです。社会問題になっている荒れた森を整備するところから始め、伐採した木材でログハウスをセルフビルドするというこのプロジェクト。2016ミス日本みどりの女神の飯塚帆南さんが荒地を伐り開き、2017ミス日本みどりの女神の野中葵さんや2020ミス日本みどりの女神の井戸川百花さんが材の加工に携わるなど、歴代のみどりの女神が代々関わらせていただいております。今回、私もその後を継ぎ、木材の加工のお手伝いをさせていただきました。

木材加工の楽しさに触れ、時間を忘れて作業に没頭

夏の日差しが差し込む中、作業がスタート。コロナ禍の上、台風などの天候の影響を受けて活動が延期になることも多く、予定よりも作業が遅れてしまっているのだとか。8月末に上棟式が行われることが決まっていたため、この日に木材の加工を進めなければなりませんでした。

▲夢中になって作業をしていました

ログハウスのセルフビルドどころか、木材の加工を一度も経験したことがない私。初心者でも出来るという、棟木に穴を開ける作業と、転び止め作り、そして棟木の表面の磨きを任されました。細かい作業や物作りが好きなこともあって、一度作業を教えていただくと無我夢中に取り組み続けました。軍手の下で、指に出来たたこの皮が剥けていたことも気づかなかったくらい、楽しい作業に没頭しました。

現場にいる全員で一致団結して棟上げし、骨組みが完成

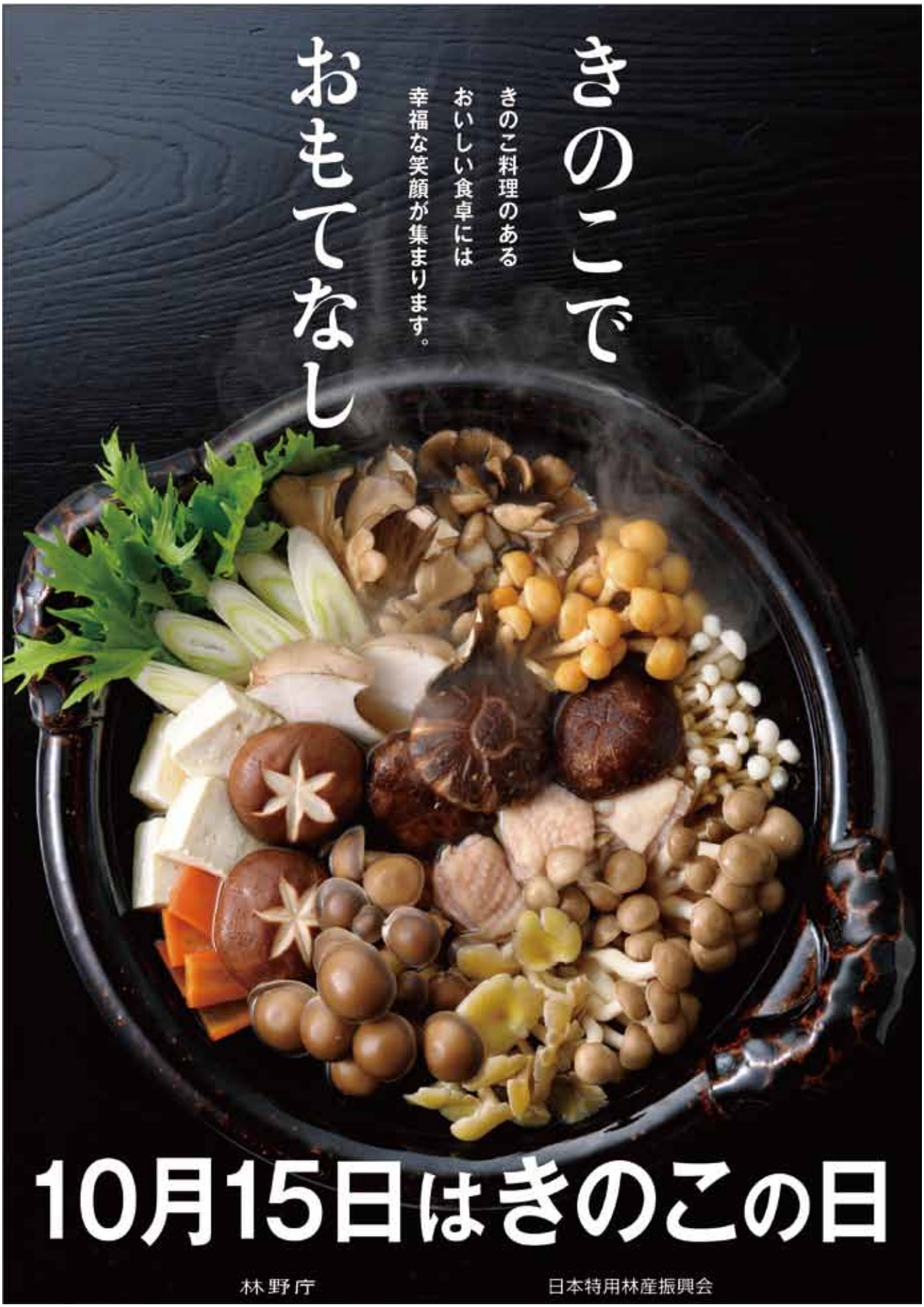
迎えた8月末。気持ちの良いほど晴れた日に行われた上棟式に、野中さんと参加させていただきました。上棟式では、屋根を支える小屋梁の上に棟木を組み立てていく作業が進められます。平屋の屋根の高さあたりに鉄骨の足場が作られ、そこまで脚立で上り、梁をカケヤで打っていくのです。

不安定な足場で、両足を開いて踏ん張りながら、梁をカケヤで叩きます。足場にハーネスをつけながら挑みましたが、高いところで重たいカケヤを持ちながらの作業。いつかバランスを崩して落ちてしまうのではないかと、終始ドキドキの連続でした。また、梁がスムーズにはまる瞬間はとても気持ちが良くて楽しかった一方、はまらない時は大苦戦。男性の力を借りながら力技ではめたりと、現場にいる全員で一致団結して棟上げを行い、無事骨組みを完成させることが出来ました。

▲上棟式では高所での作業にドキドキ

今後は、屋根や壁を作っていく作業になるそう。一から作り上げているログハウスの完成が楽しみでなりません！

林野
9
2021
September
No.174



発行／林野庁　〒100-8952　東京都千代田区霞が関1-2-1　電話 03-3502-8111（代）　FAX 03-3591-6505
編集／株式会社創言社　東京都千代田区飯田橋4-8-13　印刷／株式会社コームラ　岐阜県岐阜市三輪ぷりんとぴあ3

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

「林野」は林野庁HPでもご覧になれます。詳しくは
情報誌 林野　検索